

2/19
土4/10
日

歴史の扉4

鶴ヶ岡城
つるがおか
じょう鶴岡市指定有形文化財 鶴ヶ岡城襖絵
鶴図(部分)江戸時代 当館蔵

2022(令和4)年は、
酒井家庄内入部400年!!

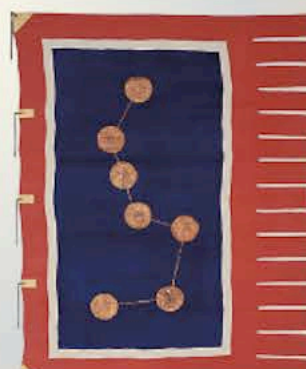
徳川四天王筆頭・酒井忠次を祖とする出羽庄内酒井家の、3代・忠勝が、元和8年(1622)に藩主として庄内へ入部してから400年の節目を迎える記念の年が始まりました!!
地域の歴史を見つめ直し、特色ある文化がどのように育まれてきたかを知る機会として、致道博物館では次の取組を行ってまいります。ぜひ、ご来館ください。

初代・酒井忠次所用 朱塗黒系威二枚胴具足
(山形県指定有形文化財、特別展①に出品、当館蔵)3代・酒井忠勝所用 紺系威二枚胴具足 兜付
(特別展②に出品、当館蔵)

酒井家庄内入部400年記念特別展

酒井家伝来品の展示を中心に、庄内の歴史と文化を紹介します。

- ① 4月14日(土)～5月29日(日) 徳川四天王筆頭・酒井忠次
- ② 6月1日(土)～7月18日(日) 中興の祖・酒井忠徳と庄内藩校致道館
- ③ 7月22日(土)～9月7日(日) 民衆のチカラ ―三方領知替え阻止運動―
- ④ 9月10日(土)～10月31日(日) 藩祖・酒井忠勝
- ⑤ 11月3日(土)～12月25日(日) 酒井家の明治維新 戊辰戦争と松ヶ岡開墾

致道館祭器「雀・站(じゃく・てん)」
(山形県指定有形文化財、特別展②に出品、当館蔵)「夢の浮橋」より
中川通荒屋敷大より之図
(鶴岡市指定文化財、特別展③に出品、当館蔵)破軍星旗
(鶴岡市指定文化財、特別展④に出品、当館寄託)

各種連携企画・イベント開催

鶴岡市を事務局とする「酒井家庄内入部400年記念事業実行委員会」の事業をはじめ、各地で開催される各種取り組みのガイドンス拠点として、案内ブースを設け、地域の魅力をPRし、様々なイベントを開催します。



- JR鶴岡駅より
バス10分
「致道博物館前」
下車徒歩2分
- 山形自動車道
鶴岡ICより
車で5分
- 庄内空港より
車で20分

重要文化財
旧渋谷家住宅国指定名勝
酒井氏庭園旧庄内藩主
御隠殿重要文化財
旧鶴岡警察署庁舎重要文化財
旧西田川郡役所重要有形民俗文化財
収蔵庫

民具の蔵

美術展示会場
(企画展示会場)

古文書翻刻書籍を2冊刊行!!

歴代藩主の事績や、庄内の歴史を知る貴重書の活字化。

- ①初代・忠次～15代・忠篤の事績 【4月14日刊行】
『酒井家世紀』(三好廉 編著、明治43年)
 - ②初代・忠次～5代・忠義の史料編纂書【9月10日刊行】
『御世紀』(都丸廣治編纂、江戸時代後期)
- ★『御世紀 附録』(初代・忠次～5代・忠義の妻子の事歴等)は、令和5年度の刊行を予定しています

「旧庄内藩主御隠殿」常設展示一部改修

江戸時代の庄内藩の歴史や、武士の鍛錬として奨励された磯釣り、庄内竿の魅力をわかりやすく紹介するため、旧庄内藩主御隠殿の常設展示を一部リニューアルします。

400年プレミアムグッズ

ミュージアムショップも充実! 特別展の図録や解説書の発行や、プレミアムグッズ制作販売を予定しています。

致道博物館
CHIDO MUSEUM

館名の「致道(ちどう)」は、庄内藩校致道館に由縁し、出典は『論語』で「君子学んで以て其の道を致す」です。

〒997-0036 山形県鶴岡市家中新町10-18 (鶴岡公園西隣)
電話: 0235-22-1199 FAX: 0235-22-3531
<https://www.chido.jp/> E-mail: infochido@chido.jp

開館時間/休館日

3月～11月 9:00～17:00(受付終了16:30) / 無休
12月～2月 9:00～16:30(受付終了16:00) / 水曜日、年末年始休館

入館料金: 一般800(700)円 / 高大生400(300)円 / 小中生300(200)円
※20名以上は()内の団体料金となります。
100名以上の特別割引もございます。事前にご予約ください。
※この料金で企画展のほか常設展示6棟および庭園を観覧いただけます。

Chido Museum Information

3/1
火4/3
日

第29回

鶴岡雛物語
つるおかひなものがたり致道博物館
CHIDO MUSEUM

鶴岡雛物語 第29回

庄内藩主酒井家の有職雛や旧家のお雛様が一堂に！

城下町・鶴岡では、参勤交代によって江戸から、北前船によって京の都から雛人形や雛道具などが運ばれました。時代が変遷しても、これらは代々大切に受け継がれ、今では市内一円で「鶴岡雛物語」が開催されています。致道博物館では、大名家ならではの謎えが優美なお雛飾りや、徳川家や細川家から輿入れした姫君が持参した雛道具、職人の技が凝縮された市内菓子店のお雛菓子など、見どころ満載！雅な世界を、ご堪能ください。

会期中のイベント **開催日をチェック！**
◆お雛菓子作り 3月6日⑧、27日⑧ 13:00～15:00
可愛らしいお雛菓子を、菓子職人に教わって作れます。リピート率が高い人気のイベント。
♪材料費：ひとつ200円 ♪予約不要 ♪所要時間20分

◆あこがれの姫様気分 つるおか姫様プロジェクト開催！
～酒井家庄内入部400年記念事業～ 会期中毎日
入館時、ご希望の方へ姫様缶バッジをプレゼント！
“お姫様”とお呼びします。龍の湯蔵ギャラリー氷室、丙申堂、荘内神社宝物殿でも実施します。一生の思い出に！

◆ひなまつり顔出し看板 会期中毎日
この時期だけのお楽しみ♪ 当館では「お内裏様とお雛様」を設置します。市内を巡って「三人官女」「牛車」コンプリートにチャレンジしてみてくださいね！
♪入館料はかかりません ♪写真撮影すると記念品プレゼント有り

◆着物で入館料が半額に！ 会期中毎日
着物でご来場いただいた方は入館料が半額になります。



最新情報は館公式Twitterをチェック！



旧庄内藩主酒井家に伝わる雛人形 有職雛 酒井家蔵



鶴岡の伝統お雛菓子

北前船で伝わった雛菓子が独自に発達した鶴岡。野菜や果物、縁起物の鯛などを象った生菓子や、干菓子・飴細工など、名店の技を紹介します。

遠州屋、久栄堂菓子舗、鶴岡飲料(株)港屋、藤田菓子舗、福田屋菓子、梅安、中村屋菓子店、梅津菓子舗、住吉屋菓子舗、木村屋

熊本藩細川家九曜紋・庄内藩酒井家酢漿草紋入り雛道具（山形県指定有形文化財）当館蔵



最上家が庄内を統治していた江戸時代初頭、鶴ヶ岡城下では町割りや治水工事が行われ、戦乱で荒廃した土地の復興が進められました。

元和8年（1622）に庄内藩主酒井家3代・酒井忠勝が入部すると、鶴ヶ岡城を本城とし、酒田の亀ヶ崎城を支城に定めました。酒井家が入部した頃の鶴ヶ岡城は、いまだ粗野な造りでしたが、石垣を築いたり、二の丸大手門を建てたり、少しずつ整備を進め、城、そして城下町としての体裁が整えられました。

本展では、江戸時代に作成された絵図や鶴ヶ岡城にまつわる古文書を中心に紹介します。軍事施設としての城、藩主や藩士、町人や職人等が働き、暮らすための城・城下町について、「守る」「働く」「暮らす」をキーワードに概観します。



〈藩主が住んだ本丸の屋敷〉



〈鶴ヶ岡城下の町割り〉



〈本当はこうだった…〉
幕府へ提出した改修希望の図。
櫓が7つも!! 実際は2つしか…。

鶴ヶ岡城

歴史の扉4

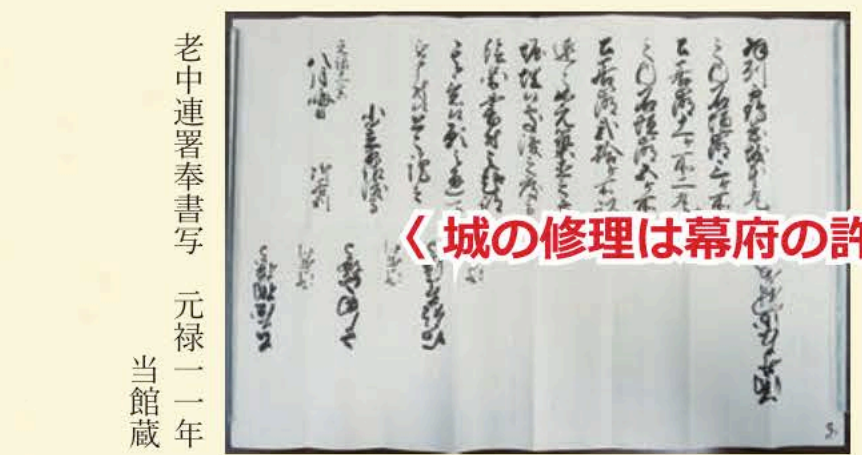
―守り、働き、暮らす拠点―

鶴ヶ岡御城絵図（部分） 江戸時代
鶴岡市郷土資料館蔵

鶴ヶ岡御城下絵図 明和年間 当館蔵

羽州庄内鶴岡城絵図（部分） 明暦三年 当館蔵

大泉叢誌絵図三十四 御転領之所其俣庄内御領地之命下り早打到着追手前群集図（部分） 江戸時代後期（山形県指定有形文化財） 当館蔵



〈城の修理は幕府の許可が必須!!〉

老中連署奉書 元禄一年 当館蔵

【学芸員によるギャラリートーク】

日時：3月12日（土）14:00～（1時間程度）
場所：美術展覧会場
申込：先着30名



三方領知替え中止を知らせる早駕籠が、鶴ヶ岡城へ到着した時の様子を描いた図。

近辺の町人、村人数千人が早駕籠を追って大手門の前に群集した。藩士たちも知らせを聞くためになだれ込むように登城している。

大手門や門前の橋、馬出、二の丸の角櫓、土塁や堀の様子なども立体的に知ることが出来る。